

第6章：実現化方策

沼田都市計画マスタープランにもとづく都市づくりを推進するため、市民・企業・行政等の協働によるまちづくり体制を整え、民間活力を導入した効果的な都市づくりを推進するとともに、社会経済状況の変化に対応した適切な都市づくりの進行管理を行うことによって、本市の将来都市像の実現を目指します。

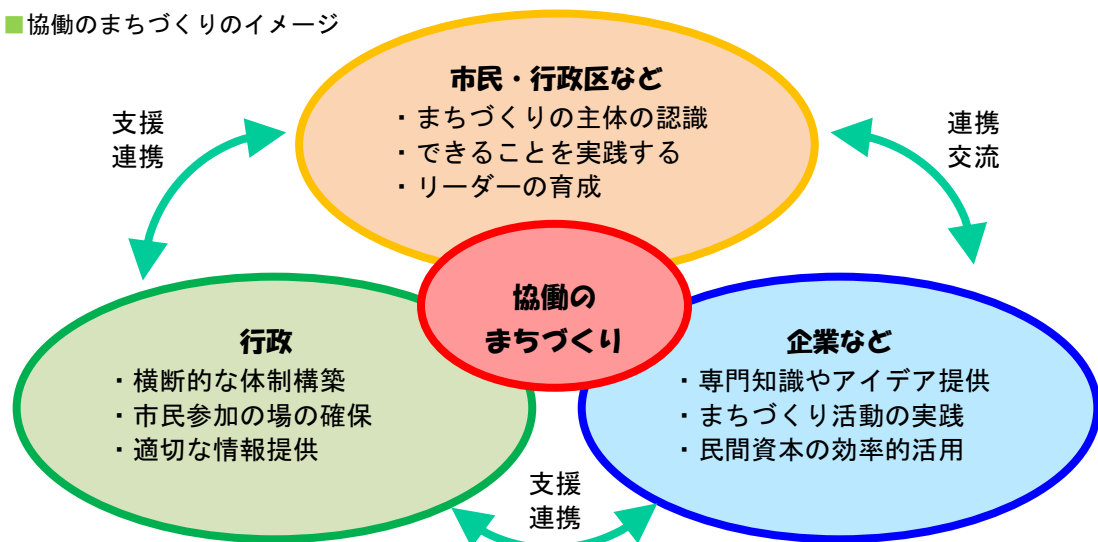
1. 市民・企業・行政等による協働のまちづくり

人口減少、少子高齢化、高度情報化など、社会環境が急速に変化する中で、市民のニーズはより多様化・複雑化しており、厳しい財政状況のもとで事務の効率化を図りながら、市民のニーズに的確に対応していくためには、市民の意見を聴き、無駄のない行政サービスを提供していくことが必要とされています。また、市民自らがまちづくりの主体として、能力を生かしながら社会参加したいという意識や、防災に対する意識等も高まる中で、地域のつながりの重要性も再認識されています。

そのため、本市においては、平成19年4月に「沼田市市民協働推進基本方針」を定め、市民、企業・行政等による協働のまちづくりを推進するため、多様な施策を展開しています。

今後、沼田都市計画マスタープランに基づくまちづくりを具体的に推進していくためには、市民・企業・行政等による協働のまちづくり体制を確立し、地域をよく知り、地域の課題に柔軟かつ迅速に対応できる市民の協力と、専門的な知識やアイデア、資本力を有する企業などの民間活力導入を図り、効果的な都市づくりを進めていくことが必要です。

■ 協働のまちづくりのイメージ



(1) 市民参加の促進・まちづくりの担い手の育成

協働のまちづくりを進めるためには、市民のまちづくりへの関心や意欲を高め、市民がまちづくりの主体として、まちづくり活動に積極的に参加していくことが必要です。

そのため、まちづくり講演会や出前講座等を通じ、市民のまちづくりに対する意識の

啓発を図るとともに、まちづくりに関する市民アンケート調査やワークショップの開催、まちづくり懇談会の設置など、市民が協働のまちづくりに参加できる多様な場の確保を図ります。

また、地域コミュニティやボランティア組織など、多様なまちづくり活動を支援するとともに、それらの組織と連携し、リーダーとなるまちづくりの担い手の育成に努めます。

（２）行政のまちづくり推進体制の充実

沼田都市計画マスタープランを効果的に推進していくため、都市計画、土木、建築のほか、環境、福祉、防災など関係機関が連携し、総合的な視点に立ってまちづくりを進めることができる庁内調整体制を充実します。

また、行政と市民が情報を共有できるよう、広報誌やホームページなどを活用し、沼田都市計画マスタープランをはじめ、市が取り組んでいる各種計画や事業とその必要性など、まちづくりに関する情報の発信、提供に努めます。

（３）企業などの参加促進と民間活力の導入

企業などは、専門的な知識や、柔軟な発想、アイデア等を提供することによって、地域にとって望ましいまちづくりの実現に貢献することが期待されています。

そのため、企業などに協働のまちづくりへの参加を働きかけるとともに、企業などが有するノウハウや資本など、民間活力の導入を図り、効率的な都市づくりの推進を図られるように努めます。

2. 沼田都市計画マスタープランに基づく都市づくりの推進

今後は、今回改訂した沼田都市計画マスタープランに基づいて都市計画決定（変更）の手続きを進めるとともに、都市計画事業の実施により都市づくりを推進します。

また、概ね5年ごとに実施される都市計画基礎調査の結果を活用し、進捗状況や都市づくりの問題点を把握することにより、都市づくりの状況を評価します。

なお、県が策定する都市計画区域マスタープランや市の上位計画である総合計画の見直しにより必要が生じた場合、あるいは、策定段階では想定できなかった状況が発生した場合には、本計画の見直しを行います。